



通行止めとなった県道小林えびの高原牧園線＝30日、霧島市牧園町高千穂(畦地文雄撮影)

新燃岳入山規制

霧島市 観光関係者ら冷静

火山と共生「仕方ない」

霧島連山・新燃岳の噴火警戒レベルが7年ぶりに3(入山規制)に引き上げられた30日、霧島市の観光関係者からは「火山と共生する地域。仕方がない」と冷静に受け止める声が上がった。(一面参照)

桜の見頃を迎えた同市霧(49)は「危険が差し迫っている状況ではない。霧島の島田口の霧島神話の里公園では同日、恒例の「桜の春を十分に楽しんでほしい」と落着いた様子で話していた。園は火口から約6キロ、市観光協会によると、温泉位置。高橋清貴支配人、泉街や宿泊施設のキャンセルはたくさんある。火山活動

千穂の県道小林えびの高原牧園線では、通行止めの看板を見てUターンする車が相次いだ。東京都の50代の夫婦は高千穂峰を登山する予定だった。「驚いたが自然相手では仕方がない。温泉に入ってゆっくりする」と口をそろえた。

市ふるさとガイドクラブの登山ガイド、後藤辰美さん(76)は「警戒レベルを引き上げた後は、レベルを下げるまでの見極めが大変になる。見計らないといけない」と心配した。

【問1】 霧島連山・新燃岳の噴火警戒レベルが3になったのは、何年ぶりでしょう。

【問2】 噴火警戒レベルを上げたのは、どこの省庁でしょう。

【問3】 問2は、どんな規模を想定していると説明したのでしょうか。

【問4】 2011年の噴火は、何を放出したのでしょうか。

【調べてみよう】

むずかしい漢字とことば

霧島(きりしま) 新燃岳(しんもえだけ) 噴火(ふんか) 警戒(けいかい) 地域(ちいき) 見頃(みごろ) 迎(むか)え 恒例(こうれい)＝いつも決まって行われること 満喫(まんきつ)＝心ゆくまで十分に楽しむこと 危険(きけん) 迫(せま)る 状況(じょうきょう) 温泉(おんせん) 宿泊施設(しゅくはくしせつ) 延期(えんき) 把握(はあく) 訪(おとず)れ 落胆(らくたん) 高千穂(たかちほ) 看板(かんばん) 峰(みね) 驚(おどろ)く

